大府かわら版

6月市議会

子どもたちの気持ちを大切に

長期欠席者の解決願い質問

日本共産党・久永かずえ市議

6月2日㈫に開会した大府市議会6月定例議会。一般質問は11日㈭、12日㈮に行われ14議員が登壇。日本共産党の久永かずえ議員は11日㈭の2番目に質問に立ち、学校を年間30日以上欠席している「長期欠席者」の解決を願って市の考え・対応をただしました。その一部を報告します。

増える長期欠席者　8年で3倍に
背景には過度の競争押しつけが

小中学生で30万人を超える長期欠席。子どもが悪いわけでも、子どもや家庭の責任でもありません。国は「学びの保障」や「早期発見・早期対応」と言いますが、子どもの気持ちにあわず長期欠席者数は増え続けています。しかも10年以上横ばいだった不登校は2012年から急増し始め2020年には倍加。それは安倍政権下で全国学力テスト体制など過度の競争と管理が学校に押し付けられた時期と重なります。コロナ危機の際の科学的裏付けのない「いっせい休校」、その後の学校再開の際の勉強の詰め込みは、長期欠席者の増加に拍車をかけました。

心に傷を負う子どもたち。その苦悩や不安を理解して子どもの模索を支え、長期欠席の子どもたちを支えていくとりくみが急がれます。日本共産党は、長期欠席者の解決にむけて、何よりも子どもたちの気持ちを大切に、そして子どもたちが安心して休む権利、自分らしく生きられる権利を大切に、と願い質問しました。

直近3年間の長期欠席児童・生徒の推移

	小学校		中学校		全体
	人	%	人	%	人
2025(R7)年	164	2.9	214	7.7	378
2024(R6)年	145	2.5	206	7.5	351
2023(R5)年	133	2.3	177	6.6	310

市の現状認識は

◉久永市議の質問…直近3年間の小中学校の長期欠席者数の推移は？

▼市の答弁…（上表の通り）

◉久永市議の質問…2017年は小中学校で100人だったのが8年間で3倍以上に。この現状を大府市はどうとらえているか？

▼市の答弁…全国的傾向であり課題が一つではないため大府レインボープランに取りまとめ多面的に取組んでいる。

教員増など抜本策を

◉久永市議の質問…多様化する課題に対応するためにも抜本的対策として、教員増、少人数学級の早期実現が急務では？

▼市の答弁…生活リズムの不調や学業不振など要因は一つではない。教員不足が直接的要因ではなく、多面的な対策が必要と捉えている。

全国学テは中止を

◉久永市議の質問…競争心をあおり学校や子どもの負担となっている全国学力・学習状況調査を中止する考えは？

▼市の答弁…義務教育の機会均等と水準向上、学校等が自らの教育結果を把握し改善を図るという目的に賛同。教育委員会として引き続き取り組んでいく。

◉久永市議の質問…4月に学力テストを行い、結果が出るまでに中間・期末テストが終わっている。授業に反映できていないのではないか？

▼市の答弁…学校全体の課題や取り組みの評価が基本的な方針であり、毎年結果を見て改善を重ねていく。

不要な学テより教員増等に予算を
国に意見あげるべき　久永市議が要求

全国学力テストは4月実施で結果が出るのは5か月後。その間に学校では中間・期末のテストがあり、授業にテスト結果は反映できません。子どもたちの学力について、一番把握しているのは現場の先生たち。なのに現場で不要な全国学テに、2019年は47億円余、24年は37億円余も。その予算は少人数学級実現や教員定数増に充てるべき。市も調査に協力しない立場で教育予算の使い方の優先順位を見直すよう国に意見を上げることも重要です――久永市議は質問の最後にこう意見を述べました。

6月定例市議会は24日㈬が最終日。午前9時開会です。

相談はお気軽に声かけください



生活相談　日常生活の困りごとについてご相談ください。

予約制で弁護士が対応　**法律相談**

7月15日㈬午後6時～　無料

お急ぎの方も、まずは久永議員へ

久永かずえ携帯電話　**090-1758-3521**